

京都大学交響楽団にゆかりのある皆さんがコンサートをなさると聞いてこれは是非聴かねばならないと思いました。私は1981年から1998年の定年退職まで京大音楽部の部長として、あるいは他の資格で京大オーケストラとは深く関わっておりました。部長の時代には後にも先にも初めてのヨーロッパ演奏旅行に同行し、また練習場の全焼という大事件にも見舞われました。私自身チェロを抱えて夏の国内演奏旅行に参加したこともありました。京大在職期間の半分近くにわたって京大オケと関わったことになり、今や私の人生の中でも重要な部分を占めています。団員と先輩の皆さんが京大オケに寄せる思いを最も思い知らされたのは焼けた部室・練習場再建の時でした。先輩有志の呼びかけに応じてそれこそほんの1、2か月の間に必要な三千万円余が集まったのでした。このような同志の絆で結ばれた方々が大学卒業後数十年を経てなお他人に聴かせる音楽をなさるといふことは何と素晴らしいことでしょう。今回の演奏会の中心であり、法学部の後輩でもある坂本利彦さんは当時関西で令名高かった東貞一門下の逸材で、私達の結婚披露宴でリストの「愛の夢」を弾いていただいた思い出があります。京大オーケストラとは共演されたこともあって団員の中に多くの友人をお持ちと聞いておりました。それぞれ大学卒業後は社会の中で重要なお仕事に就かれつつ音楽への情熱を絶やすことなく燃やし続けてこられた方々に心から敬意を表し皆様とともに大きな拍手を送りたいと思います。

京都大学

名誉教授・元京都大学音楽部長 谷口安平